

## 進級課目読み替え表 (現行課目からの読み替え)

平成 29 年 11 月 10 日 現在

はじめに、進歩課目の読み替えにあたり、次の点に注意して実施してください。

- ・読み替え作業は隊長の指導のもとで実施してください。読み替え作業における課目(細目)認定の判断は全て隊長が行います。
- ・初級スカウト章は読み替えを行うことなく、新課目によって取り組んでください。
- ・基本の課目における「ちかい」と「おきて」の細目および、班長会議の課目「班長会議でみとめてもらう」の細目は、読み替えを行いません。

(★)・・・隊長承認      無印・・・班長承認

初級スカウト章		現行課目からの読み替え
1. 基本	(1)「ちかい」と「おきて」が言える。そのうえで、隊長と話し合う。(★)	
	(2)「スカウト章」「モットー」「スローガン」の意味を説明できる。	
	(3)日本の国旗の正しい様式を知り、集会で掲揚柱に掲揚する。	
	(4)「連盟歌」が歌える。	
	(5)普段の集会で必要なもの(訓練用具)を知り、携行する。	
	(6)スカウトサイン、敬礼、スカウト握手ができる。	
2. 健康と発達	(1)体温と脈拍を正しく測ることができる。	
3. スカウト技能	(1)自分の体や身近にあるものを用いて簡単な計測を行う。	
	(2)集会で使う身ぶり信号(気をつけ、休め、すわれ、分かれと集合隊形の各種サイン)、笛の合図を覚える。	
	(3)ロープ結び ①次のロープ結びの使いみちを理解し、実際に使う。 ア)本結び イ)一重つぎ ウ)ふた結び エ)もやい結び オ)8の字結び	
4. 善行	(1)集会などで行う社会奉仕活動へ積極的に参加する。	
5. 信仰奨励	(1)隊集会やキャンプ、ハイキングでスカウト OWN・サービスに参加する。	
6. 班長会議	(1)初級スカウトとして進級することを、班長会議で認めてもらう。	

2級スカウト章		現行課目からの読み替え
1. 基本	(1)「ちかい」と「おきて」について意味を説明でき、その実践に努力していることを隊長に認めてもらう。(★)	
	(2)日本の国旗の意味、歴史、使用を説明でき、班や隊の活動で国旗を正しく掲揚できる。	A4 公民-3 国旗
	(3)外国旗およびその国のスカウト章を5か国以上見分ける。	A6 世界友情 -1 外国旗、スカウト章
2. 健康と発達	(1)体温、脈拍と体調との関係について説明する。	
	(2)救急法 ①日常遭遇しやすい次のような場合の応急手当や対応が説明できる。 ア)鼻血 イ)目のちり ウ)やけど エ)指の切り傷 オ)立ちくらみ カ)頭痛 キ)蜂、ダニ、毛虫などの虫さされ ク)熱中症	B5 救護-2 応急手当
	②三角布法で他の人の頭、手、ひざ、足に包帯を巻き、腕を吊る方法を実演する。	B5 救護-3 三角巾
	(3)隊または班の安全係を3か月以上担当する。	B2 安全-3 安全係
3. スカウト技能	(1)ハイキング・読図 ①16方位と方位角の呼び方を覚え、コンパスで進路を発見する。	C2 読図-2 16方位
	②2万5千分の1地形図を用いて次のことをする。	C2 読図-3 地形図作業

	<p>ア) 図上に示された2つの地点の間の方位角、直線距離、標高差、道路に沿った歩行距離を読む。</p> <p>イ) 真北と磁北の違いを説明する。</p> <p>ウ) 500m (または1km) ごとの方眼を正確に書き入れた地形図により、6桁 (または8桁) 座標読みを行い、示された地点に到達する。</p>	
	③三角点、水準点、標高点、等高線とは何かを知り、三角点または水準点の標石を発見する。	C2 読図-4 三角点
	④10個以上の地形図記号を覚える。	C2 読図-5 地形図記号
	⑤コンパスを用い、バックベアリングができる。	
	⑥地図とコンパスを用いた10km程度のハイキングを計画し、隊長の指名する2級以上のスカウト (但し、適任者がいない場合はベンチャースカウトも可) とともに、保護者の同意のもと実施し、報告する。このハイキングは、1. 基本(1)および6. 班長会議(1)以外の課目を終了した後に、仕上げの課目として行う。(★)	2級(1)ハイキング-4
	(2)キャンピング ①次の野外料理を作る。 ア) 複数人数分の米飯および味噌汁 イ) 複数人数分の野菜、肉、魚、玉子を材料とした2種類以上の料理	E2 野外料理-3 野外料理
	②かま、なた、のこぎりを安全に使用でき、手入れと保管ができる。	E3 キャンプクラフト -3 かまの使用他
	③火口、焚き木、薪を作り、マッチ2本で火を起し、500mlの水を沸騰させる。	E6 たき火_マスターバッジ
	(3)ロープ結び ①次のロープ結びの使いみちを理解し、実際に使う。 ア) 巻き結び イ) ねじ結び ウ) 引きとけ結び エ) ちぢめ結び オ) 腰掛け結び カ) てぐす結び キ) てこ結び ク) 張り綱結び	E5 ロープ結び -1 薪結び他 -3 腰掛け結び他
	(4)観察 ①食用植物、有害植物をそれぞれ2種以上見分ける。	D1 観察 -1 食用・有害植物
	②24個の小さな物を1分間観察し、そのうちの16個以上を記憶によって答える。	D1 観察-3 キムスゲーム
	(5)計測 ①100mの距離を誤差5%以内で歩測する。	D2 計測-1 簡易測量法
	②スカウトペースで2kmを15分で移動する。	D2 計測-4 スカウトペース
	③はかりや計量器を使わずに、1合の米、1lの水を15%以内の誤差で量る。	D2 計測-6 自分量
	(6)通信 ①片かな手旗信号で15の原画を理解し、10文字程度の語句を発信、受信できる。	D3 通信-1 手旗
	②追跡記号を10種以上覚える。	D3 通信-4 追跡記号
4. 奉仕	(1)デンコーチとして3か月以上の奉仕、または社会奉仕活動を3回以上実施する。	G2 デンコーチ_ターゲットバッジ または G3 近隣奉仕_ターゲットバッジ
5. 信仰奨励	(1)スカウトタウン・サービスで、自分ができる役割を果たし、「ちかい」と「おきて」を日常で実践したこと、実践により感じたことを発表する。	信仰奨励章-3
6. 班長会議	(1)初級スカウトとして隊および班活動に3か月以上、進んで参加したことを班長会議で認めてもらう。	

1 級スカウト章		現行課目からの読み替え
1. 基本	(1)「ちかい」と「おきて」の実践に努力していることを日常生活で示す。(★)	
	(2)姉妹都市または自分が興味を持っている2か国の民族、文化、通貨、言語を調べ隊または班集会で話す。	A6 世界友情 -4 姉妹都市
	(3)日本の国旗と外国旗を併用して掲揚および設置する時の注意事項を知る。	
	(4)半旗の意味と正しい掲揚の方法を知る。	
2. 健康と発達	(1)50m泳ぐか1,000mを走り、自己記録を更新できるように努力すること。	B3 水泳-2 100m 泳 または B4 運動能力_ターゲットバッジ
	(2)水分や食物の補給が体調に与える影響を知り、体調を管理するための準備ができる。	B4 運動能力-1 成長期 または B4 運動能力-3 運動と食事
	(3)救急法 ①班員1人と協力して、急造担架を作り、実際に人を運ぶ。	B5 救護-1 急造担架
	②直接圧迫止血法と間接圧迫止血法の違いを知り、直接圧迫止血法による応急処置ができる。	B5 救護-4 止血
3. スカウト技能	(1)キャンピング ①班の炊事係として、2泊3日以上のカンパの調理を担当する。	E2 野外科料理-2 炊事係
	②自然物(石、木、竹等)を用いた、キャンパに役立つ工作を1つ以上作成する。	E3 キャンクラフト -4 キャンパ工作物
	③マッチに防水加工を施し、携帯用の防水容器に入れて提出する。	E4 燃料 -1 マッチ防水加工
	④連続5泊以上の隊キャンパかまたは自団の隊または班で参加できる地区、県連盟、日本連盟のキャンパ大会に参加する。	
	⑤キャンパにおける用便、ゴミ処理ならびに食料保管について、衛生上注意する点を知り、実践できる。	E7 キャンパマネジメント -1 キャンパのゴミ減量 -2 キャンパの衛生管理表 F1 食料-4 食料の保管
	⑥1級旅行(1泊2-4時間以上のハイキング)の計画書を作成し、必要な個人装備を携行して隊長の指名するベンチャースカウト(但し、適任者がいない場合は1級以上のスカウト)とともに、隊長より与えられた課題と方法によりキャンパを行い、報告する。このキャンパは、1.基本(1)および6.班長会議(1)以外の課目を終了した後、仕上げの課目として行う。(★)	1級(1)キャンピング-4
	(2)ハイキング・読図 ①日中、夜間においてコンパスを用いずに方位を2種類の方法で見する。	F3 サバイバル -4 コンパスなしの方位
	②300m以上の距離に追跡記号を設置し、班員を誘導する。	D3 通信-5 追跡ハイク
	③クロスベアリングの手法を用い、地形図上で現在地を発見する。	
	(3)ロープ結び ①次のロープ結びの使いみちを理解し、実際に使う。 ア)垣根結び イ)よろい結び ウ)バタフライノット エ)馬つなぎ オ)からみ止め カ)バックスプライス キ)角しばり ク)はさみしばり ケ)筋かいしばり	E5 ロープ結び -2 垣根結び他 -5 索端処理 -6 バックスプライス他 F5 パイオニアリング -1 三脚、-3 台形橋脚
	(4)観察 ①樹木5種類以上をスケッチまたは写真で記録し、特徴を述べる。	D4 森林-3 樹木識別

	②北極星の発見方法を知り、北極星を発見できる。また、5つの星座を発見できる。	
	③身近にいる動物（ほ乳類・鳥類・魚類など）について観察し、報告する。	D5 野性生物 -3 観察プログラム
	(5)計測 ①自作の簡易測量器具を用いて、樹木などの高さを誤差10%以内で測る。	D2 計測-3 自作の計測器具
	②簡易測量法を用い、到達できない2点間の距離（長さ、高さ）を誤差10%以内で測る。	D2 計測-2 簡易測量法
	③ハイキングで野帳をつけ、その野帳によって略地図を作る。	D2 計測-5 野帳と略地図
	(6)通信 ①片かな手旗信号で20文字以上の文章を発信、受信できる。	
	②号笛を使って野外でできる簡単な通信ゲームを考え実施するか、号笛を使用した救難信号を覚える。	D3 通信-2 救難信号または D3 通信-6 モールス信号
	(7)技能章から、「ハイキング章」「スカウトソング章」を取得する。	
4. 奉仕	(1)班での奉仕活動を計画し、隊長の承認を得て実施、報告する。(★)	G3 近隣奉仕 -5 年間奉仕活動
	(2)自分の住んでいる地域にある3つ以上の施設へ案内ができる。	G8 ガイド-1 公共案内
5. 信仰奨励	(1)隊集会やキャンプ、ハイキングで行うスカウトズ・サービスで、主要な役割を果たす。	信仰奨励章-(4)
6. 班長会議	(1)2級スカウトとして隊および班活動に3か月以上、進んで参加したことを班長会議で認めてもらう。	

<b>菊スカウト章</b>		現行課目からの読み替え
1. 基本	(1)「ちかい」と「おきて」の実践に努力して他のスカウトの模範となる。(★)	
	(2)班長、次長（グリーンバー）、またはジュニアリーダーとして隊運営に6か月以上携わる。	A9 リーダーシップ_マスターバッジ
	(3)B-Pのラストメッセージを読み、隊長とその内容について話しをする。(★)	A8 B-P -6 ラストメッセージ
	(4)外国のスカウトの「おきて」を調べる。できれば外国スカウトや指導者に直接教えてもらう。	A6 世界友情 -5 外国のおきて
2. 健康と発達	(1)50m泳ぐか1,500mを走り、自己記録を更新できるように努力すること。	
	(2)救急法 ①AED（自動体外式除細動器）について以下のことが説明できる。 ア) AEDとは何か イ) どのような時に使用するか ウ) 使用の手順	
	②たばこ、アルコール、薬物が人体へ及ぼす害について知る。	B1 健康-2 害のあるもの
3. スカウト技能	(1)技能章から「野営章」「野外炊事章」「リーダーシップ章」を取得する。	
	(2)班長、次長（グリーンバー）として班キャンプ、またはジュニアリーダーとして隊キャンプの計画を行い、1泊以上の固定キャンプを実施し、隊長に報告書を提出する。(★)	
4. 奉仕	(1)団・地域で取り組んでいる奉仕活動に4日（1日1時間以上）以上参加する。	
5. 信仰奨励	(1)信仰奨励章を取得する。(★)	
6. 班長会議	(1)1級スカウトとして隊および班活動に4か月以上、進んで参加したことを班長会議で認めてもらう。	

隼スカウト章 ★ (すべて隊長承認)		現行課目からの読み替え
1. 基本	(1) 菊スカウトとして最低6か月間、「ちかい」と「おきて」の実践に最善をつくす。	
2. 健康と発達	(1) 自分を含めた2人以上のベンチャースカウトで、安全と衛生および環境に配慮した2泊3日以上移動キャンプ(歩行距離20kmまたは、自転車100km以上)を計画し、隊長の承認を得て、実施、報告する。 (2) 次のスカウト技能のいずれかをボーイスカウト隊で指導する。 ①計測 ②通信 ③ロープ結び	隼(2)スカウト技能-(7) 隼(2)スカウト技能-(7)
3. スカウト精神	(1) 「スカウティング・フォア・ボーイズ」のキャンプファイア物語21、22、および26を読み、内容について隊長と話し合う。	
4. 奉仕	(1) 他部門の活動へ6か月以上にわたり奉仕し、その実績を報告する。 (2) 社会的弱者(高齢者、障がい者等)への支援活動を積極的に行い、隊長に活動記録を提出する。	
5. 信仰	(1) 自分の所属または興味を持った教宗派の歴史と教えを知る。 (2) 自分の所属または興味を持った教宗派の宗教行事について知る。	
6. 成長と貢献	(1) チームプロジェクトのチーフか主要な役割としてプロジェクトを計画、実施し、報告書を隊長に提出する。または、3泊4日以上移動キャンプの実施計画を作成し、実際に運営を行い、隊長に報告する。	隼(6)成長と貢献-(7)

富士スカウト章 ★ (すべて隊長承認)		現行課目からの読み替え
1. 基本	(1) 隼スカウトとして最低6か月間、「ちかい」と「おきて」の実践に最善をつくす。 (2) 現在の自分の考えと将来の進路についてまとめ、その内容について隊長と話し合う。	富士(1)基本-(1)
2. スカウト技能	(1) 技能章から「野営管理章」「公民章」を取得し、技能章を合計15個以上取得する。 (2) 自ら設定する課題により、2泊3日の単独キャンプ(固定または移動)を計画し、隊長の承認を得て実施後、評価を報告書にまとめ隊長へ提出する。	
3. スカウト精神	(1) 「スカウティング・フォア・ボーイズ」を読み、感想文を提出する。	
4. 奉仕	(1) 地域社会や学校などでの奉仕活動を企画し、隊長の承認を得て、実施、報告する。 (2) 地区、県連盟、日本連盟の行事等に奉仕し、その実績を報告する。 (3) 奉仕の意義について理解し、自身が今後の人生においてどのように社会に対して奉仕貢献できるかを文章にまとめ隊長と話し合う。	富士(2)スカウト精神-(1)
5. 信仰	(1) 宗教章を取得するか、取得に対して努力をしたことを隊長に認めてもらう。	富士(3)信仰-(7)
6. 成長と貢献	(1) 隼スカウトになった後、自己の成長と社会に役立つための課題を設定して、個人プロジェクト(研究、製作、実験など)を自ら企画して隊長の承認を得た上で、少なくとも1か月以上にわたって実施、完結させ、隊長に企画書、計画書、及び報告書を提出する。	富士(6)成長と貢献-(7)